

2013年3月期第2四半期 決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

NOMURA

野村ホールディングス株式会社

2012年10月

© Nomura

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2013年3月期第2四半期の業績に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<http://www.nomura.com>)、EDINET(<http://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<http://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P3)
- 2013年3月期第2四半期決算の概要(P4)
- セグメント情報(P5)
- 営業部門(P6-7)
- アセット・マネジメント部門(P8-9)
- ホールセール部門(P10-13)
- 金融費用以外の費用(P14)
- コスト削減の進捗(P15)
- 強固な財務基盤を維持(P16)
- 資金調達と流動性(P17)
- 欧州周辺国へのエクスポージャー(P18)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P20)
- バリュースコア・リスク(P21)
- 連結決算概要(P22)
- 連結損益(P23)
- 連結決算: 主な収益の内訳(P24)
- 連結決算数値とセグメント数値間の調整: 税前利益(損失)(P25)
- セグメント「その他」(P26)
- 営業部門関連データ(P27-31)
- アセット・マネジメント部門関連データ(P32-33)
- ホールセール部門関連データ(P34-35)
- 人員数(P36)

決算ハイライト

- 前四半期比で増収増益 ～ 4四半期連続、黒字を確保
 - 収益: 4,017億円 (前四半期比:9%増、前年同期比:33%増)
 - 税前利益: 354億円 (前四半期比:80%増)
 - 当期純利益¹: 28億円 (前四半期比:49%増)

- ビジネス・セグメントの税前利益は157億円(前四半期比:74%増) ～ 全ビジネス部門が税前黒字を計上
 - 営業部門: 収益 808億円 (前四半期比:2%減) 税前利益 110億円(前四半期比:10%減)
 - ✓ 全社利益に貢献 ～ 投信募集買付が健闘、金利低下などにより債券販売は減速
 - アセット・マネジメント部門: 収益 154億円 (前四半期比:6%減) 税前利益 46億円(前四半期比:15%減)
 - ✓ 適切なコスト管理を継続し、安定した利益水準を維持 ～ 配当収入等があった前四半期比では減収減益
 - ホールセール部門: 収益 1,371億円(前四半期比:12%増) 税前利益 2億円
 - ✓ 米州・欧州・日本が前四半期比で増収、フィクスト・インカムが収益を牽引
 - ✓ エクイティ、インベストメント・バンキングを中心に収益性改善に向けた具体策に着手
 - 競争優位性のある分野へ選択と集中
 - 10億ドルの追加コスト削減を開始 ～ 人員削減に伴う一時費用約60億円を計上

- 上半期の収益は7,709億円(前年同期比22%増)、税前利益は551億円、当期純利益¹は47億円

(1) 当社株主に帰属する当期純利益

決算ハイライト

	2013年3月期 第2四半期	前四半期比 (%)	前年 同期比 (%)	2013年3月期 上半期	前年 同期比 (%)
収益合計 (金融費用控除後)	4,017億円	+9%	+33%	7,709億円	+22%
金融費用以外の費用	3,663億円	+5%	+6%	7,159億円	+11%
税前利益	354億円	+80%	-	551億円	-
当期純利益 ¹	28億円	+49%	-	47億円	-
ROE ²	0.5%			0.4%	

(1) 当社株主に帰属する当期純利益

(2) 各期間の当期純利益を年率換算して算出

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

		2013年3月期 第2四半期	前四半期比	前年同期比	2013年3月期 上半期	前年同期比
収益	営業部門	808億円	-2%	-4%	1,635億円	-8%
	アセット・マネジメント部門	154億円	-6%	-3%	319億円	-8%
	ホールセール部門	1,371億円	+12%	+68%	2,590億円	+17%
	3セグメント合計	2,333億円	+6%	+29%	4,543億円	+5%
	その他 ¹	1,560億円	+1%	+27%	3,106億円	+54%
	営業目的で保有する投資 持分証券の評価損益	124億円	-	-	60億円	-
収益合計(金融費用控除後)		4,017億円	+9%	+33%	7,709億円	+22%
税前利益(損失)	営業部門	110億円	-10%	+2%	232億円	-29%
	アセット・マネジメント部門	46億円	-15%	-3%	99億円	-18%
	ホールセール部門	2億円	-	-	△84億円	-
	3セグメント合計	157億円	+74%	-	247億円	-
	その他 ¹	73億円	-57%	-43%	243億円	-31%
	営業目的で保有する投資 持分証券の評価損益	124億円	-	-	60億円	-
税前利益(損失)合計		354億円	+80%	-	551億円	-

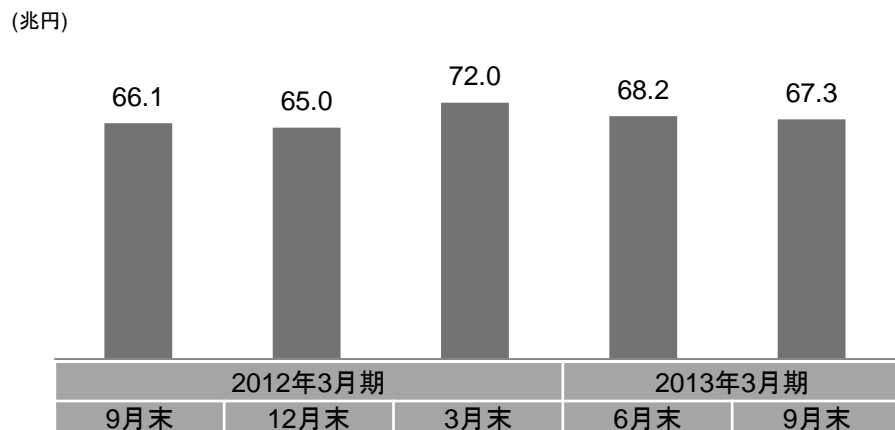
(1) 野村土地建物の子会社化に伴う連結会社を含む。第2四半期のその他には、自社およびカウンターパーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する利益25億円が含まれる

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	2012年3月期			2013年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計 (金融費用控除後)	84.0	79.7	92.4	82.7	80.8	-2%	-4%
金融費用以外の費用	73.3	69.6	72.1	70.5	69.8	-1%	-5%
税前利益	10.7	10.1	20.3	12.2	11.0	-10%	+2%

顧客資産残高



決算のポイント

- 収益: 808億円 (前四半期比2%減、前年同期比4%減)
- 税前利益: 110億円 (前四半期比10%減、前年同期比2%増)

- 前四半期比で減収減益: 市場環境は急速に悪化した前四半期から回復せず、投資家のリスク許容度は引き続き低迷

- 金利低下などにより、債券販売が減速
- 顧客ニーズに合致した幅広い商品ラインアップとコンサルティング営業の継続により、投信募集買付は健闘

顧客基盤

- 顧客資産残高 67.3兆円
- 残あり顧客口座数 500万口座
- 顧客資産純増 -103億円

主な投信販売額

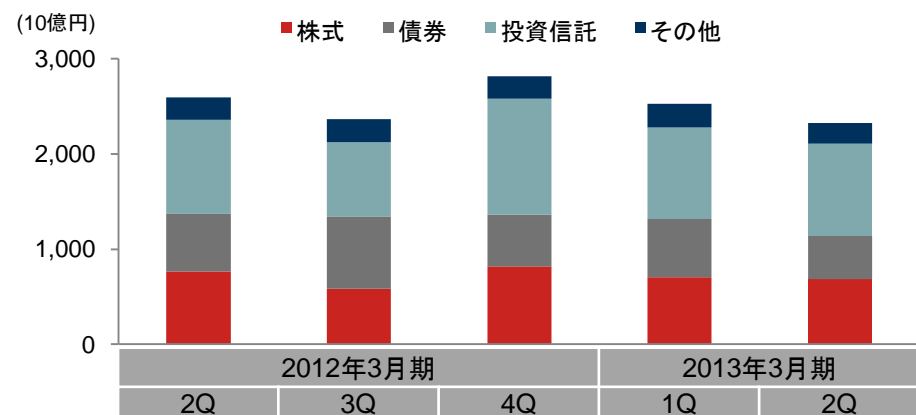
- 野村米国ハイ・イールド債券投信 1,732億円
- 野村日本株投信(豪ドル投資型)1208※ 1,205億円
- 野村豪ドル債オープン・プレミアム 693億円
- 野村グローバル・ハイ・イールド債券投信 559億円

※ 第2四半期中に新規設定

その他の販売状況

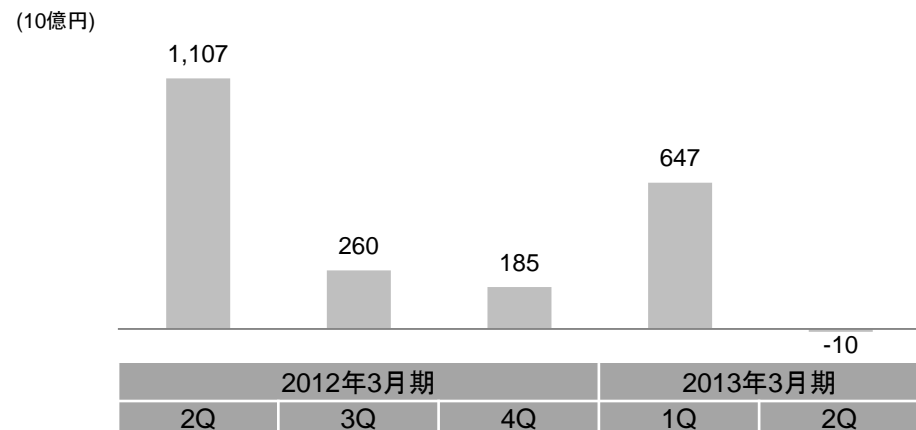
- IPO、PO 801億円
- リテール債券販売額 4,548億円
- うち外債販売額 3,502億円

総募集買付額

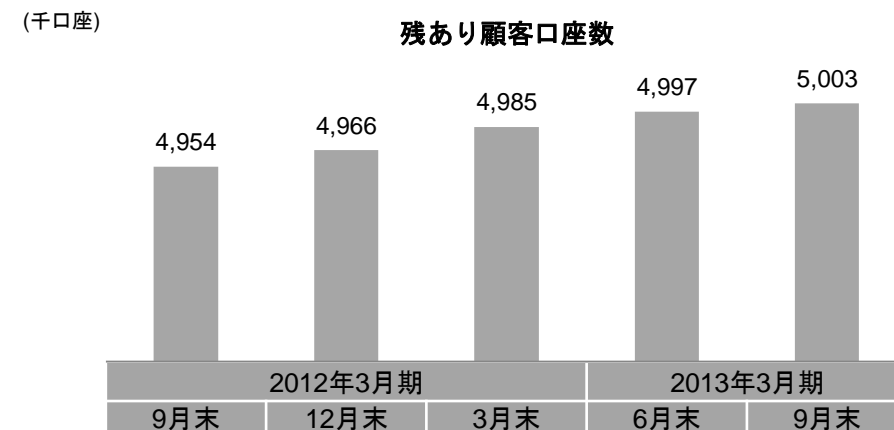


- 総募集買付額: 前四半期比8%減
- 投信: 市場全体の募集額が減少する中、募集買付額は前四半期比1%増加
 - 多様化する投資家ニーズに合わせ、外貨建てプロダクトなどで商品ラインアップを更に拡充
 - 2四半期連続で投信純増を達成
- 債券: 販売額は前四半期比で減少
 - 金利低下などが、主に外債販売に影響
 - 9月の個人向け国債、事業債などが国内債販売を下支え
- 株式: 東証売買代金が前四半期比12%減少する中、募集買付額は前四半期と同水準
 - プライマリー案件を通じて資金導入、収益を下支え

顧客資産純増¹



顧客基盤の拡大



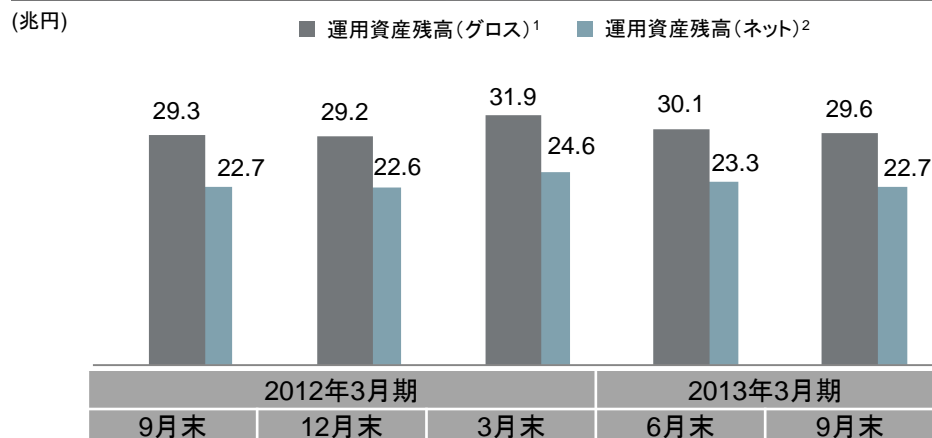
(1) 顧客資産純増=資産流入額-資産流出額、地域金融機関分を除く

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)

	2012年3月期			2013年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計 (金融費用控除後)	16.0	15.3	15.7	16.4	15.4	-6%	-3%
金融費用以外の費用	11.2	11.1	11.6	11.0	10.9	-2%	-3%
税前利益	4.7	4.2	4.1	5.4	4.6	-15%	-3%

運用資産残高



(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタル、ノムラ・ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーズ・アメリカの運用資産の単純合計
 (2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

決算のポイント

- 収益: 154億円 (前四半期比6%減、前年同期比3%減)
- 税前利益: 46億円 (前四半期比15%減、前年同期比3%減)
 - 配当収入等があった前四半期と比較して減収減益
 - 適切なコスト管理を継続し、安定した利益水準を維持

投資信託ビジネス

- 野村証券チャンネル
 - 多様な顧客ニーズに応えた商品提供と販売支援を通じて、引続き資金が流入

第2四半期資金流入額

 - ✓ 野村米国ハイ・イールド債券投信: 1,250億円
 - ✓ 野村日本株投信(豪ドル投資型)1208: 1,201億円
 - ✓ 野村豪ドル債オープン・プレミアム: 297億円
 - ✓ 野村エマージング・ソブリン円投資型1208: 270億円

- 銀行チャンネル
 - 「野村新興国債券投信Aコース」の販売会社数が引き続き増加、残高が拡大
 - 9月末残高: 1,365億円 (前四半期末比10%増)

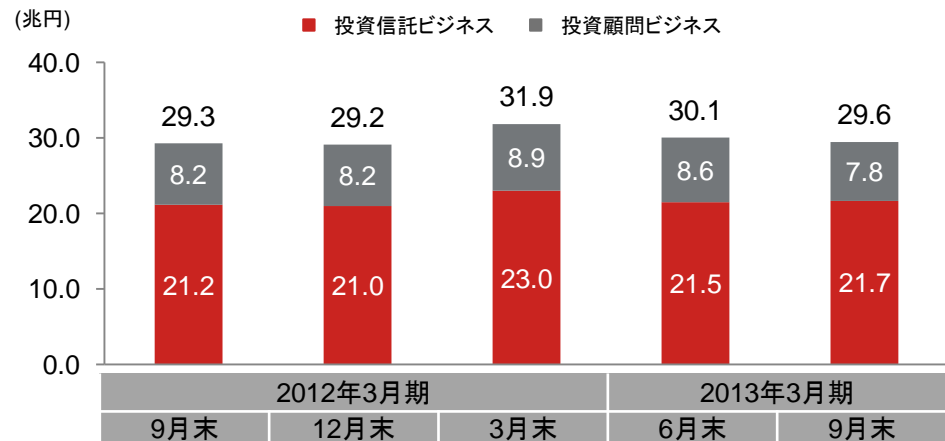
投資顧問ビジネス

- 国内公的年金で資金流出となるも、海外ではハイ・イールド債やアジア株、日本株などの運用プロダクトで既存顧客を中心に着実に資金を獲得

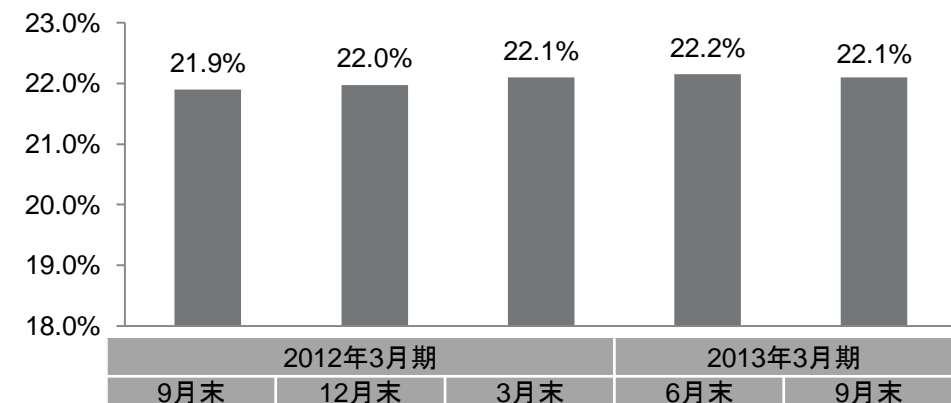
アジアビジネス拡大に向けた取り組み

- QFII投資枠を追加取得 (合計投資枠: 2.0億ドル → 3.5億ドル)
 - 中国A株関連商品をさらに強化

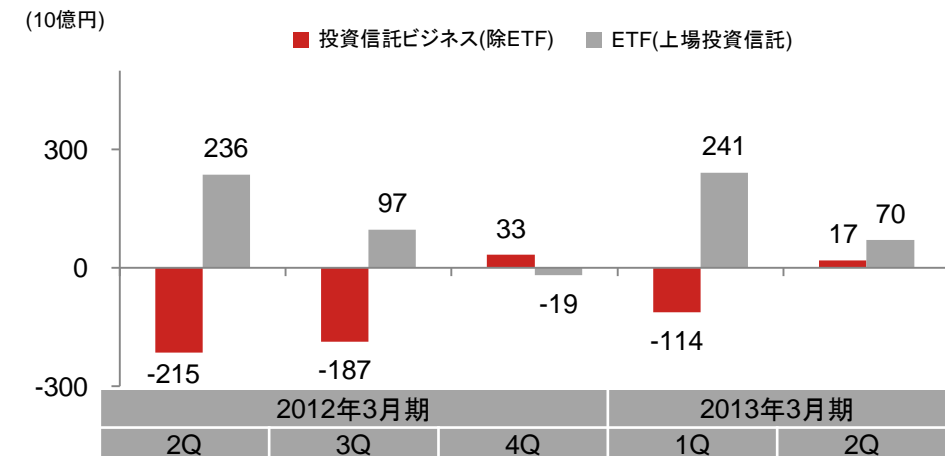
運用資産残高(グロス)¹ービジネス別



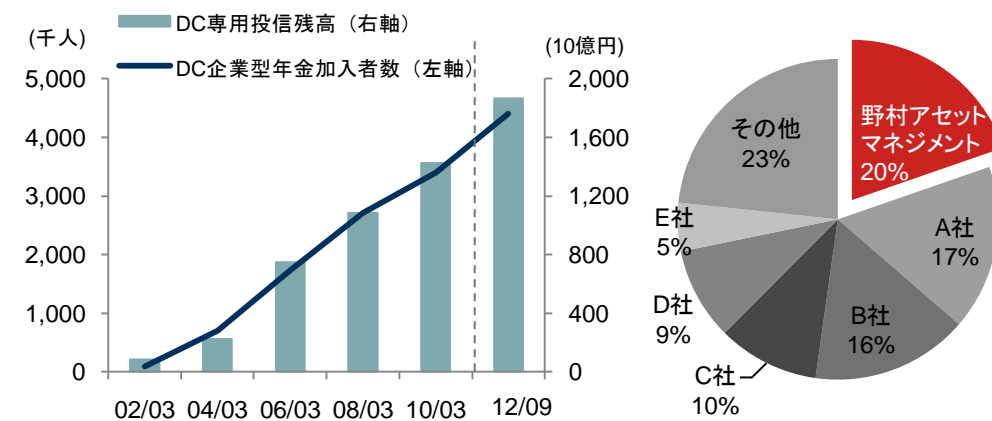
野村アセットマネジメントの公募投信シェア³



投資信託ビジネスの資金流入²



確定拠出年金(DC)制度の拡大とDC専用投信残高シェア⁴



(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタル、ノムラ・ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーズ・アメリカの運用資産の単純合計
 (2) 運用資産残高(ネット)に基づく資金流入額
 (3) 出所: 投資信託協会
 (4) 出所: 厚生労働省、野村総合研究所 Fundmark DC企業型年金加入者数は、2012年7月末現在

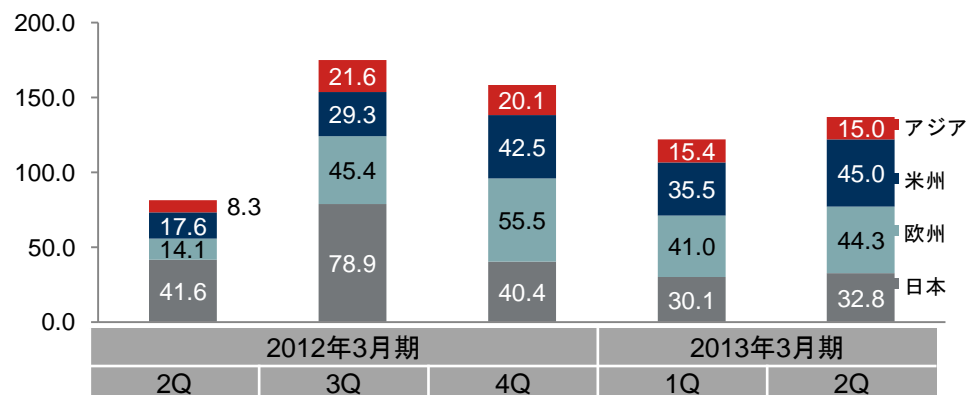
収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失¹

(10億円)

	2012年3月期			2013年3月期		前四半期比	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計 (金融費用控除後)	81.6	175.1	158.4	121.9	137.1	+12%	+68%
金融費用以外の費用	152.2	138.1	146.5	130.4	136.9	+5%	-10%
税前利益/損失	-70.7	37.1	11.9	-8.6	0.2	-	-

地域別収益¹

(10億円)



決算のポイント

- 収益: 1,371億円 (前四半期比12%増、前年同期比68%増)
- 税前利益: 2億円
 - 米州・欧州・日本が前四半期比で増収
 - フィクスト・インカムが収益を牽引～ホールセール部門の黒字化に寄与
 - 収益性改善に向けた具体策に着手～Fit for the Future
 - ✓ エクイティ:ビジネスモデルの見直し
 - ✓ インベストメント・バンキング:海外では強みを有するセクターやプロダクトに注力
 - ✓ 10億ドルの追加コスト削減～約60億円の一時費用を計上

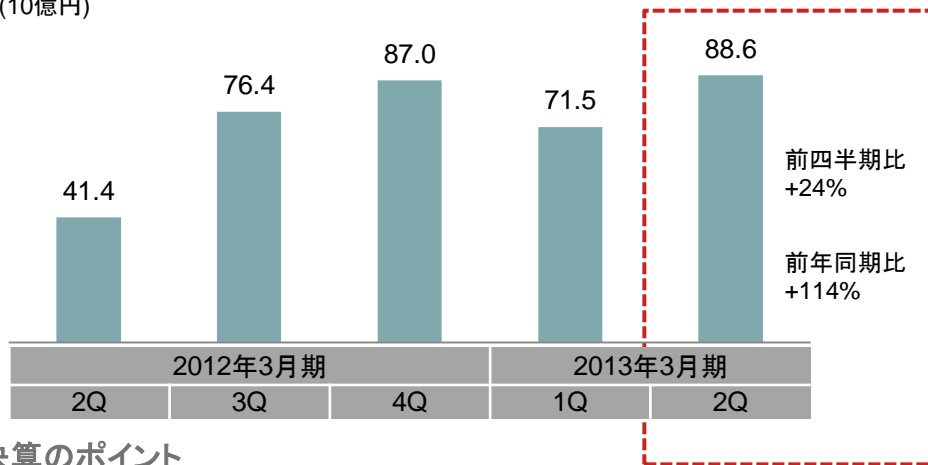
地域別概況(収益、前四半期比)

- 米州 (450億円、27%増)
 - 米国ビジネス再構築後、最大の四半期収益を計上
 - フィクスト・インカムが大幅増収、エクイティは前四半期並みの収益を確保
- 欧州 (443億円、8%増)
 - フィクスト・インカムでは金利、証券化商品が好調、前四半期比で増収
 - インベストメント・バンキングは、金融機関/スポンサー向けビジネスが堅調
- 日本 (328億円、9%増)
 - インベストメント・バンキングはECM案件、M&Aの複合化案件が収益に貢献
 - エクイティは全般的に顧客ビジネスが低調
- アジア (150億円、3%減)
 - フィクスト・インカムはクレジット、為替が堅調～アジアの収益を牽引
 - エクイティは、デリバティブが減速

(1) 2012年4月の組織改正に伴いホールセール部門およびその他を組み替えて表示

収益合計(金融費用控除後)¹

(10億円)

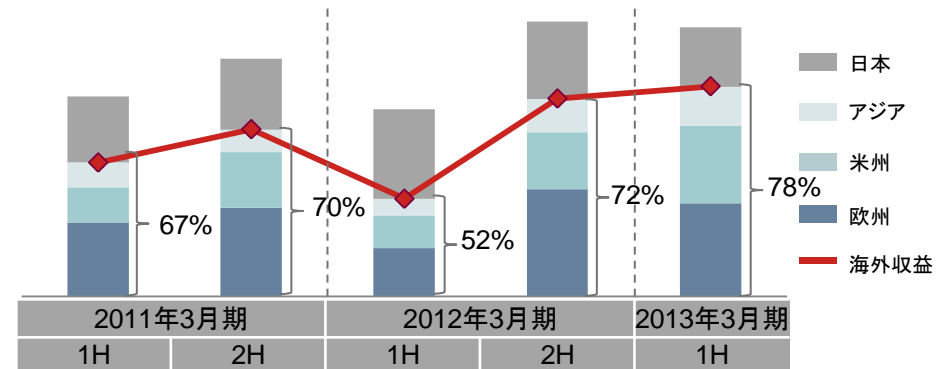


決算のポイント

- 収益: 886億円 (前四半期比24%増、前年同期比114%増)
 - 全プロダクト・地域が貢献、過去9四半期で最大の四半期収益を達成
- 各プロダクトがバランス良く収益に貢献
 - 金利:
 - ✓ 四半期を通じ顧客フローは安定、欧州・米国のマクロ環境の急変にも慎重にポジションを管理
 - クレジット:
 - ✓ 堅調な収益～アジア・米州が改善、日本のストラクチャード商品が好調
 - 為替:
 - ✓ エマージング通貨が減速するも、G10通貨が堅調
 - 証券化商品:
 - ✓ 顧客フローの増加等により、2009年以降、最大の四半期収益を計上

海外の収益貢献が拡大

<地域別収益(半期)>

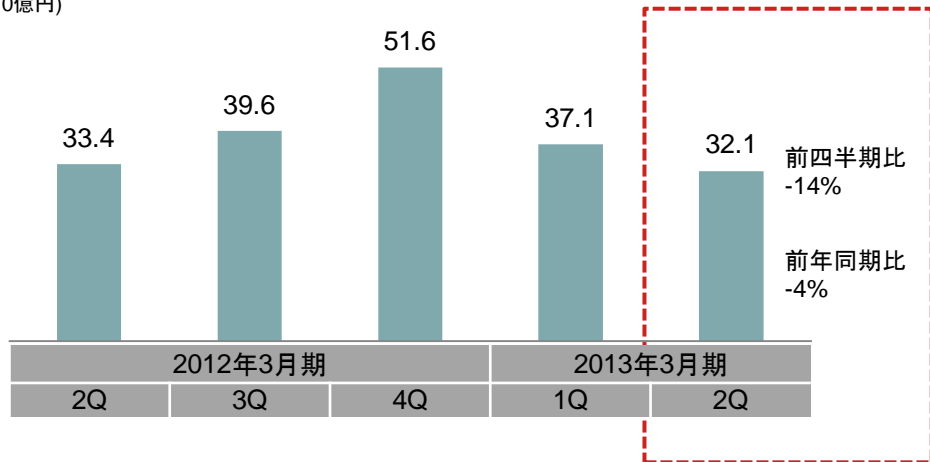


- 海外ビジネスのモメンタムが堅調
 - 海外各地域において、顧客数は引き続き増加
 - 厳格なリスク・マネジメントにもとづく適切なポジション管理
- 米州
 - ✓ 証券化商品が収益を牽引
 - ✓ 金利・クレジットの収益改善も伴い、第2四半期は米国ビジネス再構築後、最大の収益を計上
- 欧州
 - ✓ プロダクト・ミックスの改善と安定した顧客フローにより、海外収益を牽引
- アジア
 - ✓ コア・プロダクトとソリューション・ビジネスが収益の拡大にバランス良く貢献

(1) 2012年4月の組織改正に伴い当期の開示に合わせるために数値を組み替えて表示

収益合計(金融費用控除後)¹

(10億円)

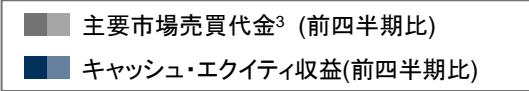


決算のポイント

- 収益: 321億円 (前四半期比: 14%減、前年同期比: 4%減)
 - 顧客フローからの収益
 - ✓ 市場売買代金がグローバル・ベースでさらに低迷し、前四半期比11%減少
 - ✓ アジア・欧州でプライマリー案件が収益に貢献
 - トレーディング収益
 - ✓ 主要市場の流動性やボラティリティ等が低下し、各地域のデリバティブ・ビジネスに影響
- グローバル・エクイティ再編に着手
 - アジア²・欧州・米州で執行機能をInstinetに移管 (2013年3月完了予定)
 - デリバティブ・ビジネス中心に再編～Investor and Corporate Solutionsに集約

(1) 2012年4月の組織改正に伴い当期の開示に合わせるために数値を組み替えて表示
 (2) 韓国、台湾などを除く (3) 出所: World Federation of Exchanges

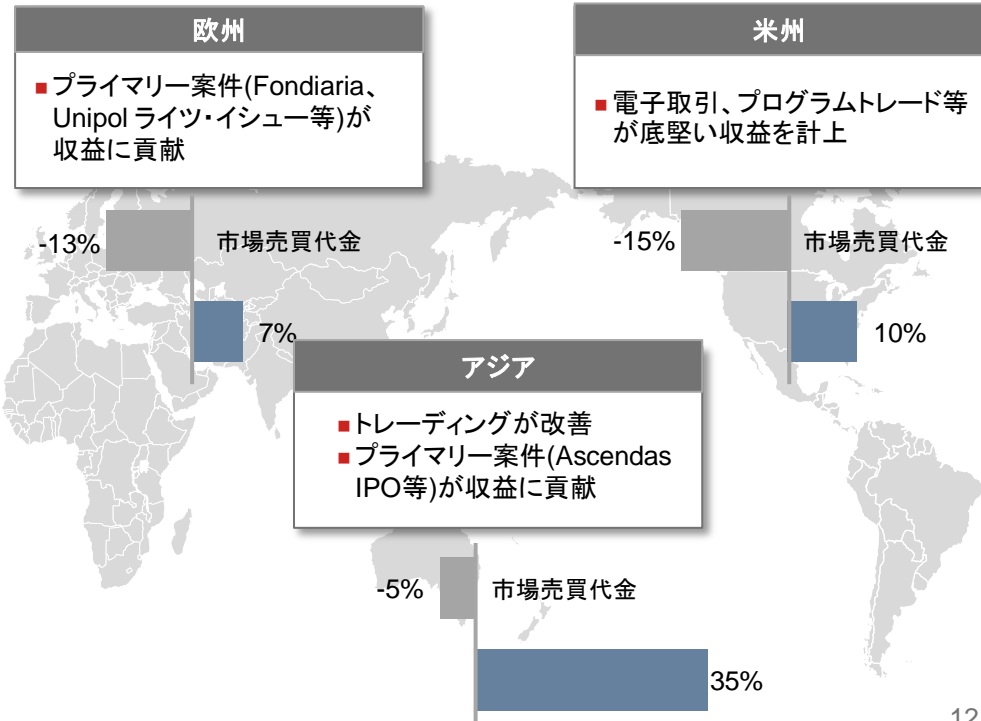
海外のキャッシュ・エクイティが健闘



■ キャッシュ・エクイティ(含むInstinet) :

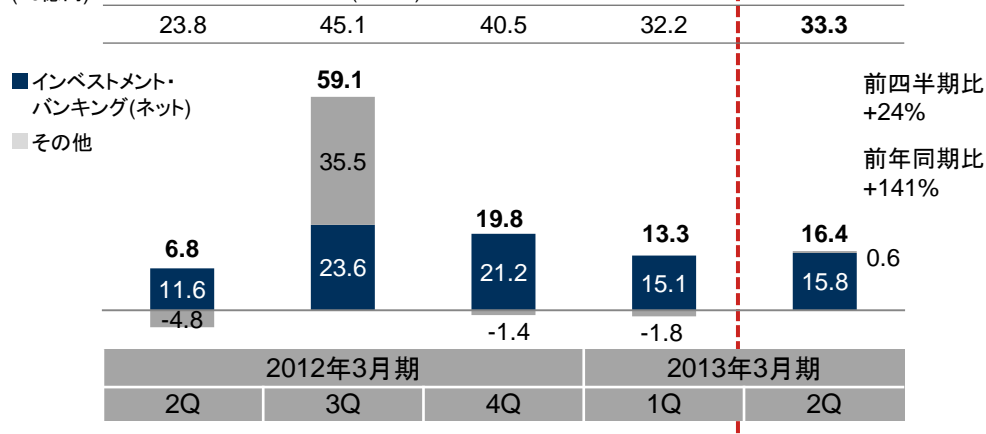
- ✓ グローバルで、前四半期比4%増収
- ✓ アジア・欧州・米州が健闘し、日本の一時的要因による減収をカバー
- ✓ Instinetが前四半期並みの収益を計上

グローバル市場売買代金 -13%
キャッシュ・エクイティ収益 4%



収益合計(金融費用控除後)¹

(10億円) インベストメント・バンキング(グロス)



決算のポイント

- 収益: 164億円 (前四半期比: 24%増、前年同期比: 141%増)
- インベストメント・バンキング(グロス)収益は333億円、前年同期比で40%増収
 - 日本、欧州を中心にECM案件からの収益が増加
 - アジアとのクロスボーダー案件を含め、M&Aビジネスが堅調
 - ✓ 日本企業の大型再編、クロスボーダー案件への関与(日本関連M&Aリーグテーブル1位²)
 - ✓ 資源・エネルギーセクターでは、中国企業による欧州企業買収をサポート
 - ✓ ローンのアレンジや為替ヘッジ等を組み合わせた複合化案件を国内外で執行
 - 欧州金融機関のファイナンス案件やスポンサー³向けビジネスが引き続き堅調

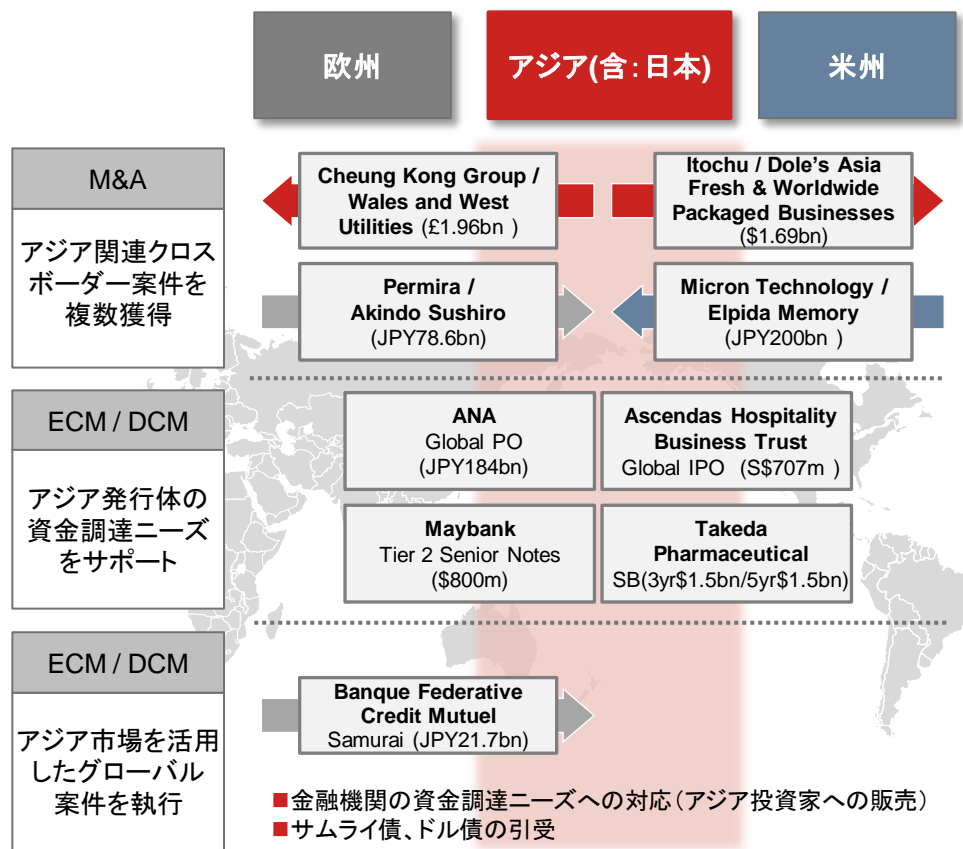
(1) 2012年4月の組織改正に伴い当期の開示に合わせて数値を組み替えて表示

(2) 出所: トムソン・ロイター(期間: 2012年1~9月)

(3) フィナンシャル・スポンサー

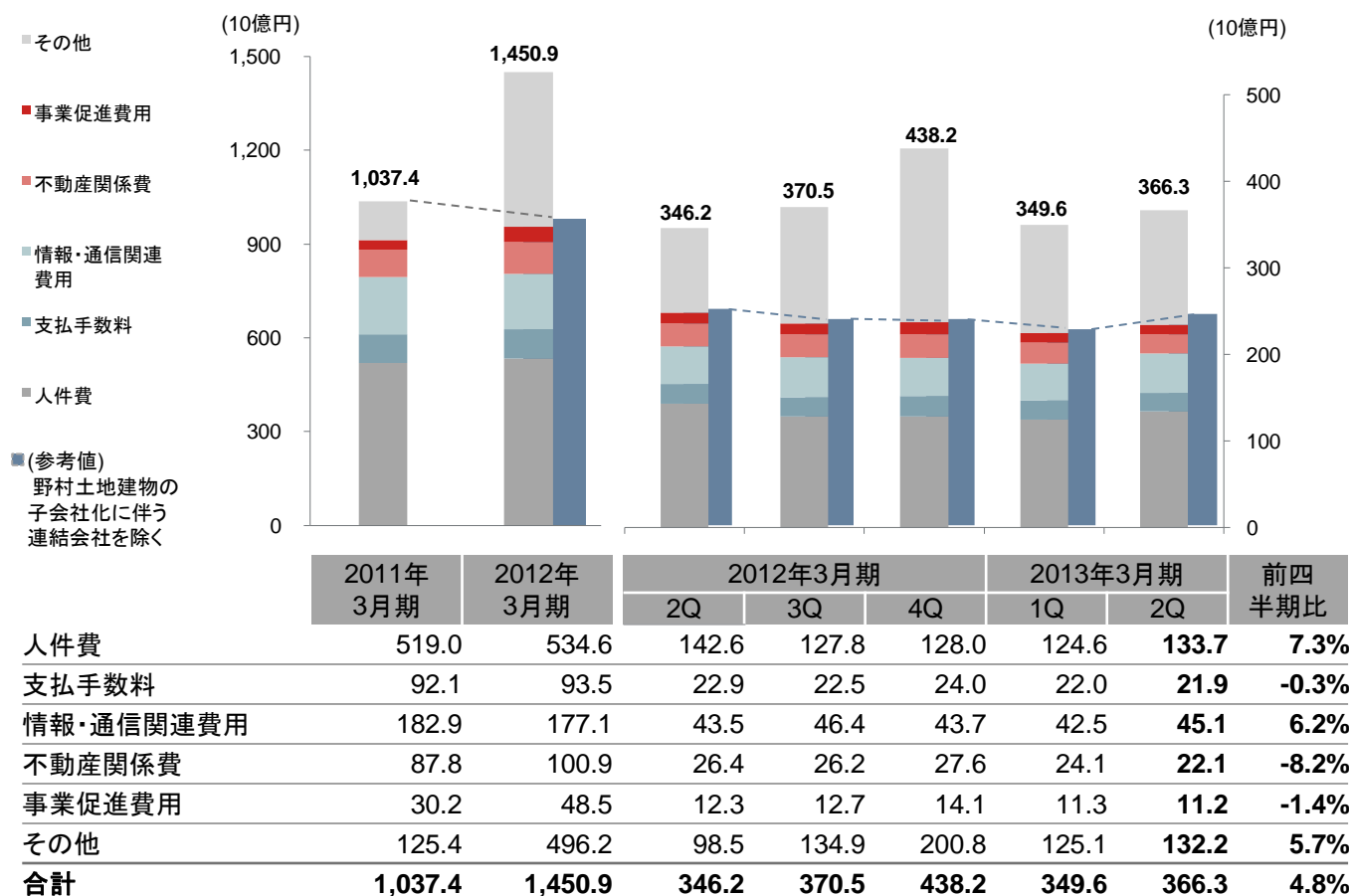
競争優位性が発揮できる分野に注力

アジアを起点にグローバル・ビジネスを展開~複数の案件を獲得



通期

四半期

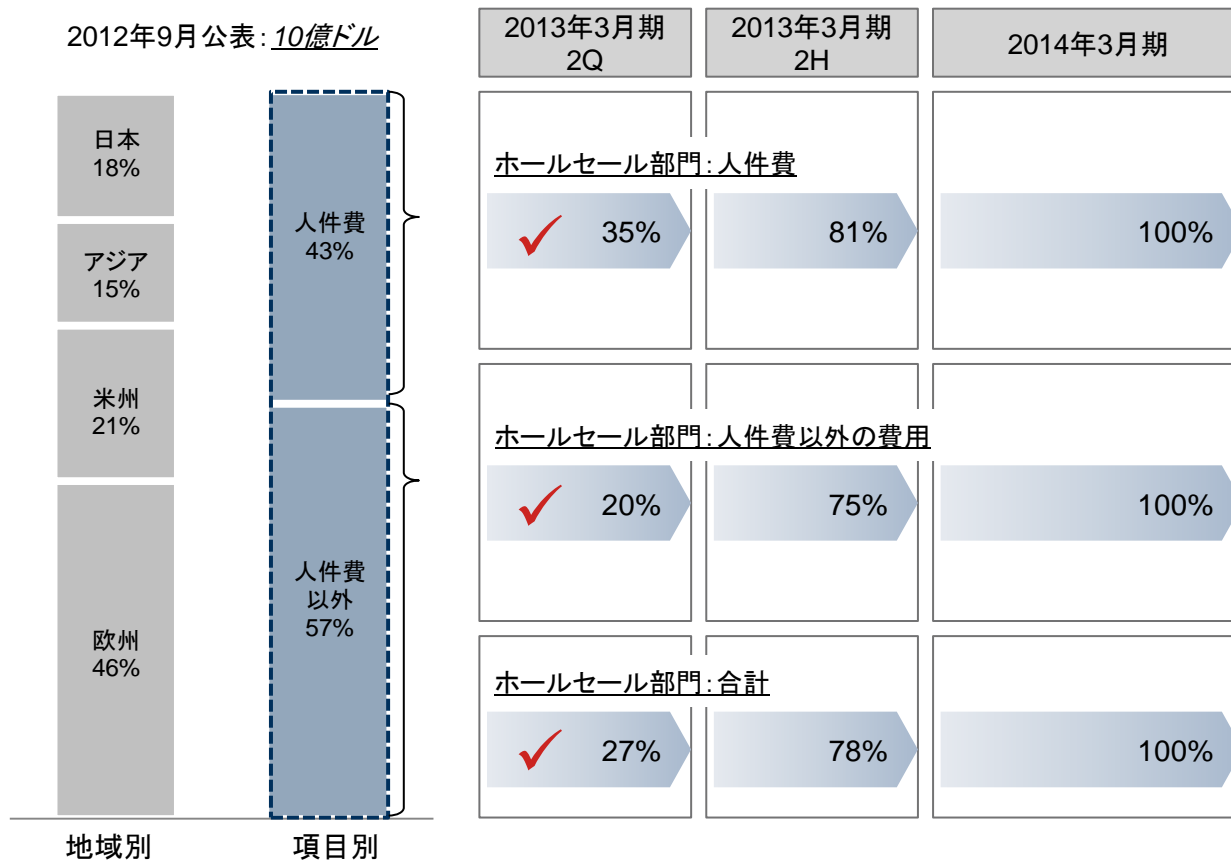


決算のポイント

- 金融費用以外の費用:3,663億円
(前四半期比:5%増)
- 主な増加要因
 - ホールセール部門を対象に10億ドルのコスト削減に着手、一時費用として67億円を人件費に計上
 - のれんの減損(83億円)をその他に計上
- 上記の一時的なコストを除くベースでは、前四半期とほぼ同水準

総額10億ドルのコスト削減スケジュール

進捗状況



- 2012年9月、追加10億ドルのコスト削減に着手
 - コスト構造の大幅な見直し~損益分岐点を引下げ
 - ホールセール部門を対象(エクイティ、インベストメント・バンキング、コーポレートが中心)
 - 2014年3月を目途に完了

- 人件費(全体の43%相当)
 - 9月中旬より、コミュニケーションを開始
 - 人員削減に伴う一時費用67億円を、第2四半期に計上
 - 退職者の補充見送り、新規採用の抑制
 - プラットフォーム統合、生産性向上などの効率化

- 人件費以外の費用(全体の57%相当)
 - 事業効率化によるシステム費用の抑制
 - 人員数減少に伴う付随コストの削減
 - 2013年3月末までに、75%削減の目途を付ける

(1) 10億ドルの地域別、項目別内訳は、9月6日のインベスターズ・デー公表値より修正

バランス・シート関連指標と自己資本比率

■ 資産合計	35.4兆円
■ 当社株主資本	2.1兆円
■ グロス・レバレッジ	16.9倍
■ 調整後レバレッジ ¹	10.6倍
■ レベル3資産 ²	約0.7兆円 (デリバティブ負債相殺後)
■ 流動性ポートフォリオ	5.3兆円

(10億円)

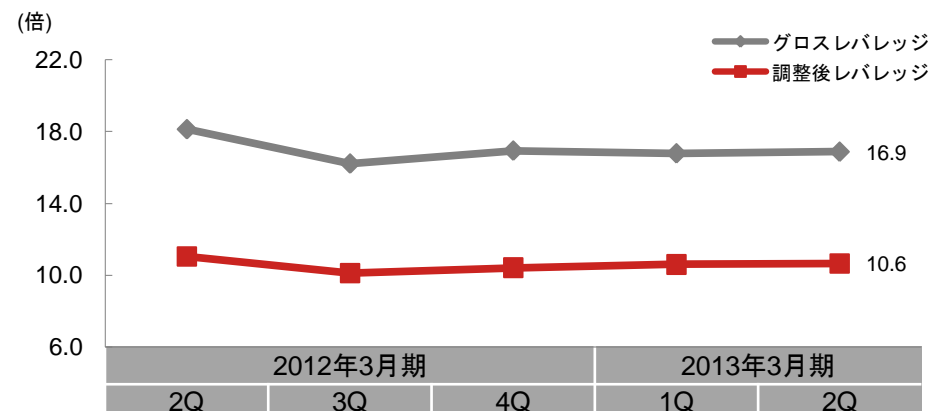
速報値 バゼル2.5ベース	6月末	9月末
Tier 1	2,097	2,115
Tier 2	320	319
Tier 3	212	215
自己資本合計	2,429	2,422
リスク調整後資産	13,942	13,998
Tier 1 比率	15.0%	15.1%
Tier 1 コモン比率 ³	13.0%	13.1%
自己資本比率	17.4%	17.2%

(1) 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率

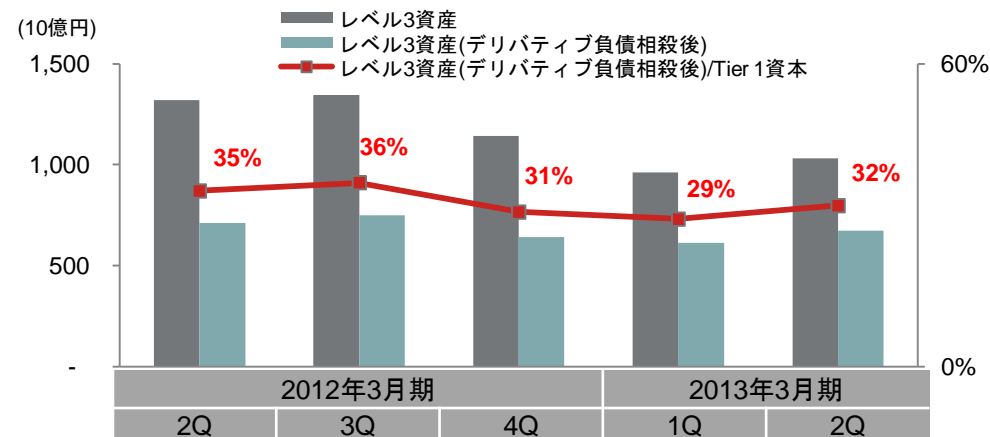
(2) 暫定数値

(3) Tier 1 コモン比率: Tier 1 資本から非支配持分を控除し、リスク調整後資産で除したものの

グロス・レバレッジ、調整後レバレッジ¹



レベル3資産²の推移と対Tier 1資本比率



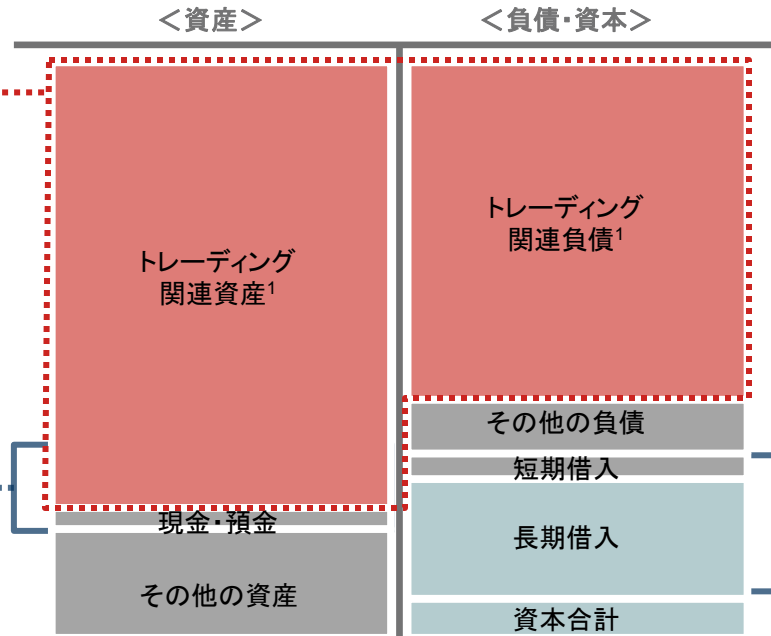
貸借対照表
(2012年9月末現在)

バランスシート構造

- 流動性の高い、健全なバランスシート構造
 - 資産の77%は流動性の高いトレーディング関連資産であり、Mark-to-marketの対象。レポ等を通じて、トレーディング関連負債とマッチング(地域、通貨)
 - その他の資産は、資本及び長期負債で調達しており、構造的に安定

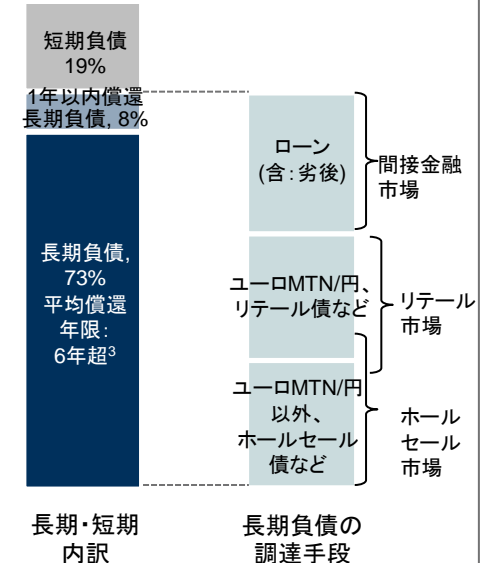
流動性ポートフォリオ²

- 流動性ポートフォリオ:
 - 5.3兆円、総資産の15%
 - 新たな無担保資金調達に頼らず、一定期間、事業継続可能な高い流動性を常時保持



無担保調達資金²

- 無担保調達資金の約8割が長期負債
- 調達先は分散



(1) トレーディング関連資産:リバース・レポ、証券、デリバティブ等、トレーディング関連負債:レポ、負債証券、デリバティブ等
 (2) 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオの中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない
 (3) 1年以内償還長期負債を除く。ストレステストでの早期償還確率を織り込む

欧州周辺国(GIIPS)のントリー・エクスポージャー(2012年9月末現在、速報値)

(百万ドル)

	インベントリー(ネット) ¹			カウンターパーティ(ネット)			ネット・エク スポー ジャー合計	6月末から の変動
	合計	うち、6カ月 以内	うち、6カ月 超	合計	うち、カウ ンター パーティ ²	うち、引当 ヘッジ等		
ギリシャ	54	7	47	41	107	-66	95	23
アイルランド	393	441	-47	28	31	-3	421	194
イタリア	1,031	-61	1,092	170	574	-405	1,201	113
ポルトガル	-7	34	-41	-7	161	-169	-14	99
スペイン	1,255	567	688	229	357	-128	1,484	549
欧州周辺国 - 合計	2,727	988	1,739	460	1,230	-770	3,186	977

$$2,727 + 460 = 3,186$$

- 9月末現在、欧州周辺国へのネット・カントリー・エクスポージャーは31.9億ドル
 - 6月末(22.1億ドル)から9.8億ドル(44%)増加
 - スペイン、アイルランドを中心に、サブリンのインベントリーが増加
- インベントリーは全てトレーディング資産として保有しており、Mark-to-marketの対象

(1) ロング・ショートをネットした商品在庫

(2) レボ取引、株券貸借取引、OTCデリバティブ等(受入担保価値控除後)

NOMURA

Financial Supplement

連結貸借対照表

(10億円)	2012年 3月末	2012年 9月末	前期比 増減		2012年 3月末	2012年 9月末	前期比 増減
資産				負債			
現金・預金	1,954	1,310	-643	短期借入	1,186	866	-319
貸付金および受取債権	2,211	2,802	590	支払債務および受入預金	2,437	2,062	-375
担保付契約	13,743	13,069	-673	担保付調達	12,519	13,939	1,419
トレーディング資産 ¹ および プライベート・エクイティ投資	14,124	14,522	399	トレーディング負債	7,495	6,804	-691
その他の資産	3,666	3,690	24	その他の負債	1,166	1,249	83
資産合計	35,697	35,394	-303	長期借入	8,505	8,087	-418
				負債合計	33,308	33,007	-301
				資本			
				当社株主資本合計	2,107	2,097	-11
				非支配持分	282	291	9
				負債および資本合計	35,697	35,394	-303

(1) 担保差入有価証券を含む

■ VaRの前提

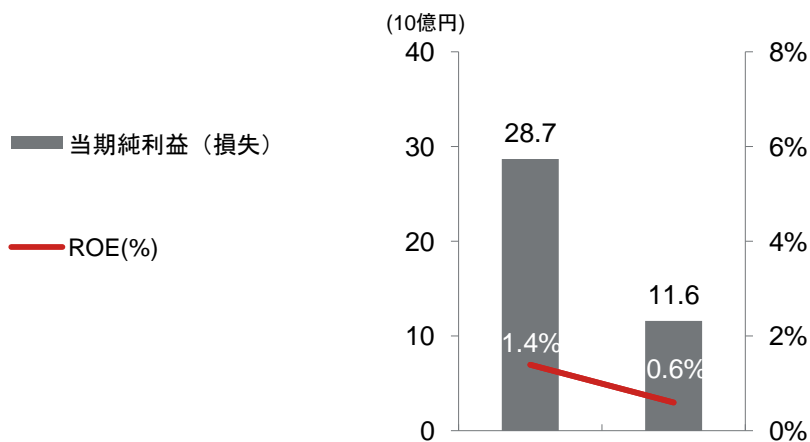
- 信頼水準 : 99%
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

■ VaRの実績(10億円)

- 期間 : 2012.4.1~2012.9.28
- 最大 : 7.2
- 最小 : 4.3
- 平均 : 5.5

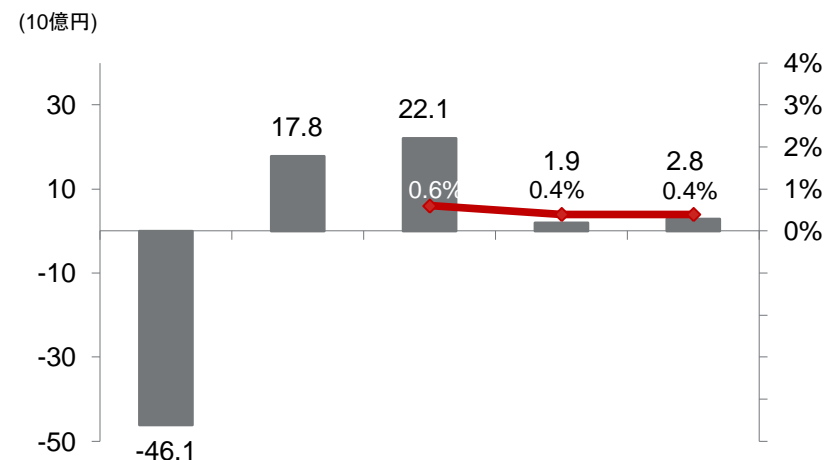
(10億円)	2011年 3月末	2011年 6月末	2011年 9月末	2011年 12月末	2012年 3月末	2012年 6月末	2012年 9月末
株式関連	1.8	1.6	1.9	1.5	1.4	1.2	1.0
金利関連	4.1	4.3	4.0	5.0	6.5	5.7	6.6
為替関連	4.5	3.8	2.8	3.5	2.5	1.7	1.9
小計	10.4	9.7	8.8	10.0	10.4	8.6	9.5
分散効果	-4.1	-3.7	-3.6	-3.6	-3.2	-3.2	-2.3
連結VaR	6.3	6.0	5.2	6.4	7.2	5.4	7.1

通期



	2011年 3月期	2012年 3月期
収益合計(金融費用控除後)	1,130.7	1,535.9
税引前当期純利益(損失)	93.3	85.0
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	28.7	11.6
当社株主資本合計	2,082.8	2,107.2
ROE(%) ¹	1.4%	0.6%
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	7.90	3.18
1株当たり株主資本(円)	578.40	575.20

四半期



	2012年3月期			2013年3月期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益合計	301.6	404.9	499.0	369.3	401.7
税引前当期純利益(損失)	-44.6	34.5	60.8	19.7	35.4
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	-46.1	17.8	22.1	1.9	2.8
当社株主資本合計	2,037.6	2,061.5	2,107.2	2,099.7	2,096.6
ROE(%)	-	-	0.6%	0.4%	0.4%
1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円)	-12.64	4.87	6.03	0.51	0.76
1株当たり株主資本(円)	556.52	562.83	575.20	569.26	567.43

(1) 四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

(10億円)	通期		四半期				
	2011年 3月期	2012年 3月期	2012年3月期			2013年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益							
委託・投信募集手数料	405.5	347.1	85.9	74.0	90.4	77.4	72.3
投資銀行業務手数料	107.0	59.6	13.8	17.2	14.8	10.4	17.1
アセットマネジメント業務手数料	143.9	144.3	36.7	33.4	35.1	33.8	33.4
トレーディング損益	336.5	272.6	26.0	80.1	98.9	84.4	88.9
プライベート・エクイティ投資関連損益	19.3	25.1	-2.3	34.6	-1.2	-5.4	0.3
金融収益	346.1	435.9	107.3	103.1	92.4	103.5	92.8
投資持分証券関連損益	-16.7	4.0	-2.5	-2.8	9.9	-7.1	13.0
その他	43.9	563.2	113.0	141.9	225.0	142.6	143.4
収益合計	1,385.5	1,851.8	377.8	481.5	565.4	439.6	461.2
金融費用	254.8	315.9	76.3	76.6	66.4	70.3	59.5
収益合計(金融費用控除後)	1,130.7	1,535.9	301.6	404.9	499.0	369.3	401.7
金融費用以外の費用	1,037.4	1,450.9	346.2	370.5	438.2	349.6	366.3
税引前当期純利益(損失)	93.3	85.0	-44.6	34.5	60.8	19.7	35.4
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	28.7	11.6	-46.1	17.8	22.1	1.9	2.8

	通期		四半期					
	2011年 3月期	2012年 3月期	2012年3月期			2013年3月期		
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
(10億円)								
委託・投信 募集手数料	株式委託手数料(営業)	51.4	36.0	9.2	7.0	11.1	7.4	7.0
	株式委託手数料(その他)	144.6	132.7	34.4	32.3	31.8	28.4	25.3
	その他委託手数料	11.5	9.4	3.2	2.0	1.8	2.3	2.6
	投信募集手数料	166.4	136.6	31.0	24.9	37.6	31.6	28.9
	その他	31.6	32.4	8.2	7.8	8.2	7.6	8.5
	合計	405.5	347.1	85.9	74.0	90.4	77.4	72.3
投資銀行 業務手数料	株式	49.8	14.3	2.1	4.2	5.4	1.6	9.7
	債券	26.3	14.6	5.0	4.5	1.7	1.1	1.1
	M&A・財務コンサルティング フィー	27.1	27.0	6.4	7.5	5.8	6.2	4.9
	その他	3.9	3.7	0.4	1.1	1.9	1.5	1.4
	合計	107.0	59.6	13.8	17.2	14.8	10.4	17.1
アセット マネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	106.7	108.2	27.8	24.9	25.9	24.9	24.8
	アセット残高報酬	21.0	18.4	4.5	4.3	4.8	4.6	4.4
	カストディアルフィー	16.3	17.7	4.4	4.2	4.4	4.3	4.3
	合計	143.9	144.3	36.7	33.4	35.1	33.8	33.4

連結決算数値とセグメント数値間の調整: 税前利益(損失)

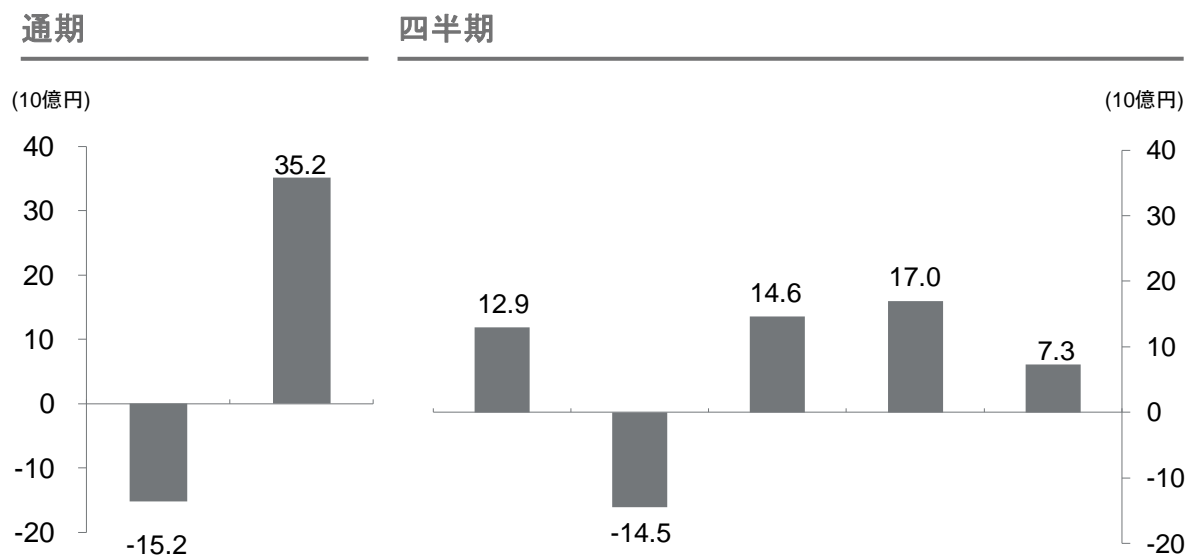
NOMURA

(10億円)	通期		四半期				
	2011年 3月期	2012年 3月期	2012年3月期			2013年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
営業部門	101.2	63.1	10.7	10.1	20.3	12.2	11.0
アセット・マネジメント部門 ¹	20.0	20.5	4.7	4.2	4.1	5.4	4.6
ホールセール部門 ²	4.1	-37.7	-70.7	37.1	11.9	-8.6	0.2
3セグメント合計税前利益(損失)	125.3	46.0	-55.2	51.4	36.3	9.0	15.7
その他 ^{1,2}	-15.2	35.2	12.9	-14.5	14.6	17.0	7.3
セグメント合計税前利益(損失)	110.2	81.2	-42.3	36.9	50.9	26.0	23.1
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	-16.9	3.8	-2.4	-2.5	9.9	-6.3	12.4
税引前当期純利益(損失)	93.3	85.0	-44.6	34.5	60.8	19.7	35.4

(1) 2011年4月の組織改正に伴いアセット・マネジメント部門およびその他を組み替えて表示

(2) 2012年4月の組織改正に伴いホールセール部門およびその他を組み替えて表示

税前利益(損失)



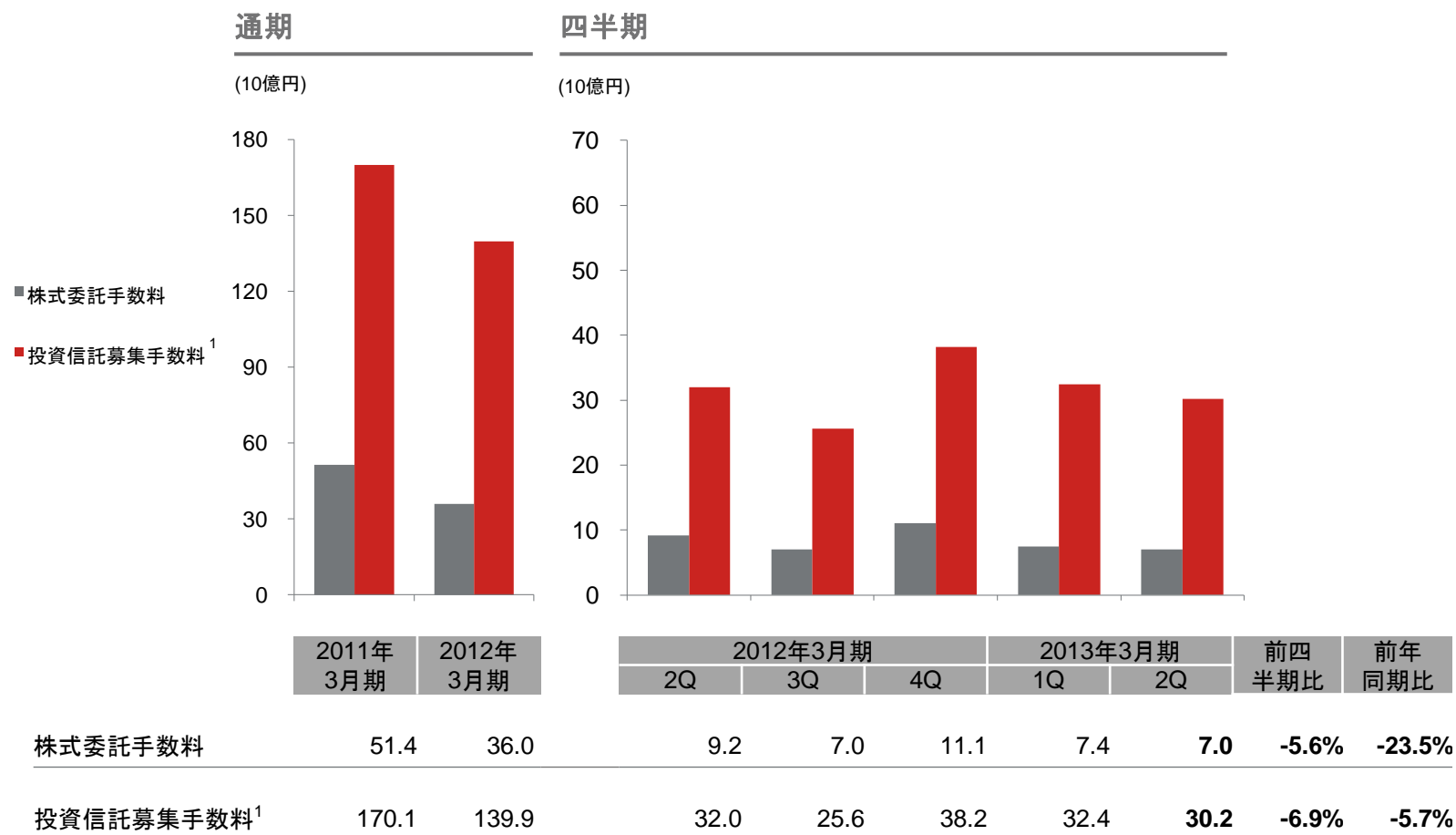
	2011年 3月期	2012年 3月期	2012年3月期			2013年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	2.3	8.4	4.2	7.7	-2.1	-1.2	1.0
営業目的で保有する投資持分証券の 実現損益	0.2	0.2	-0.2	-0.3	0.0	-0.7	0.6
関連会社損益の持分額	9.0	10.6	2.0	1.3	3.9	1.3	3.3
本社勘定 ¹	-34.5	-32.1	-8.6	-29.0	-7.1	6.6	-7.0
その他 ^{1,2}	7.8	48.1	15.5	5.8	19.9	11.1	9.5
税前利益(損失)	-15.2	35.2	12.9	-14.5	14.6	17.0	7.3

(1) 2012年4月の組織改正に伴いホールセール部門およびその他を組み替えて表示
(2) 2011年4月の組織改正に伴いアセット・マネジメント部門およびその他を組み替えて表示

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2011年 3月期	2012年 3月期	2012年3月期			2013年3月期			
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
委託・投信募集手数料	244.8	201.5	48.2	38.7	55.8	44.1	41.7	-5.4%	-13.4%
販売報酬	52.8	59.0	13.0	15.2	15.6	15.1	16.8	11.2%	-3.2%
投資銀行業務手数料等	42.3	38.2	9.5	13.7	8.7	10.3	9.4	-8.5%	-0.9%
投資信託残高報酬等	48.5	47.4	12.3	10.9	11.4	11.9	12.0	0.3%	-2.3%
純金融収益等	4.1	4.2	1.0	1.2	0.8	1.2	0.9	-31.4%	-11.2%
収益合計(金融費用控除後)	392.4	350.3	84.0	79.7	92.4	82.7	80.8	-2.3%	-3.8%
金融費用以外の費用	291.2	287.1	73.3	69.6	72.1	70.5	69.8	-1.0%	-4.7%
税前利益	101.2	63.1	10.7	10.1	20.3	12.2	11.0	-10.1%	2.2%
国内投信販売金額 ¹	9,473.5	8,933.9	2,081.8	1,827.5	2,381.8	1,952.0	1,804.8	-7.5%	-13.3%
公社債投信	2,641.8	2,869.4	647.3	691.3	743.2	733.9	549.2	-25.2%	-15.2%
株式投信	5,606.9	5,217.8	1,203.1	956.9	1,479.9	1,055.7	1,047.7	-0.8%	-12.9%
外国投信	1,224.8	846.6	231.4	179.3	158.7	162.4	207.9	28.0%	-10.2%
その他									
年金保険契約累計額(期末)	1,697.3	1,800.8	1,756.4	1,780.4	1,800.8	1,828.3	1,856.9	1.6%	5.7%
個人向け国債販売額 (約定ベース)	32.8	281.2	102.9	78.9	62.8	62.3	36.9	-40.9%	-64.2%
リテール外債販売額	1,565.6	1,703.4	439.7	452.2	397.5	460.8	350.2	-24.0%	-20.4%

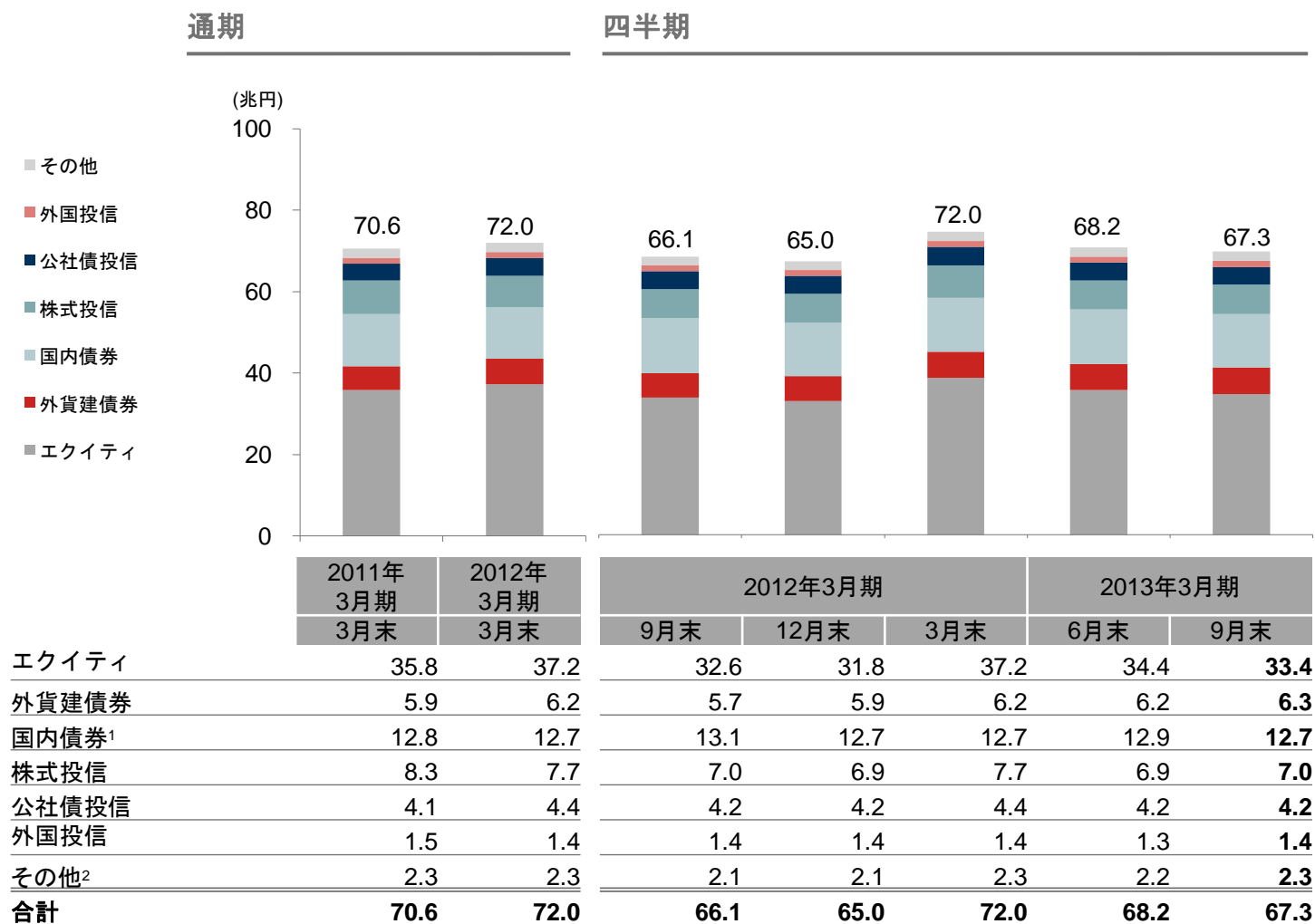
(1) 野村証券単体ベース

株式委託手数料と投資信託募集手数料



(1) 野村証券単体ベース

営業部門顧客資産残高

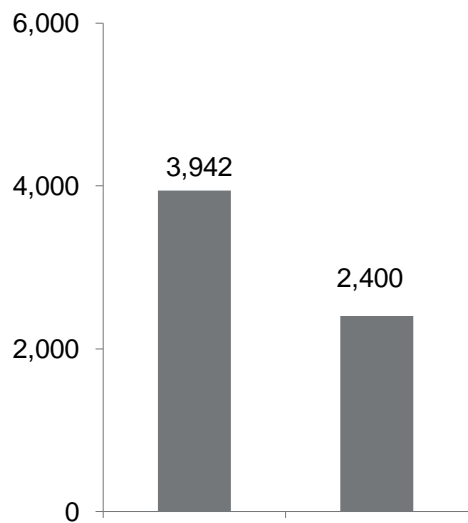


(1) CB・フロントを含む
 (2) 年金保険契約資産残高を含む

営業部門顧客資産純増¹

通期

(10億円)

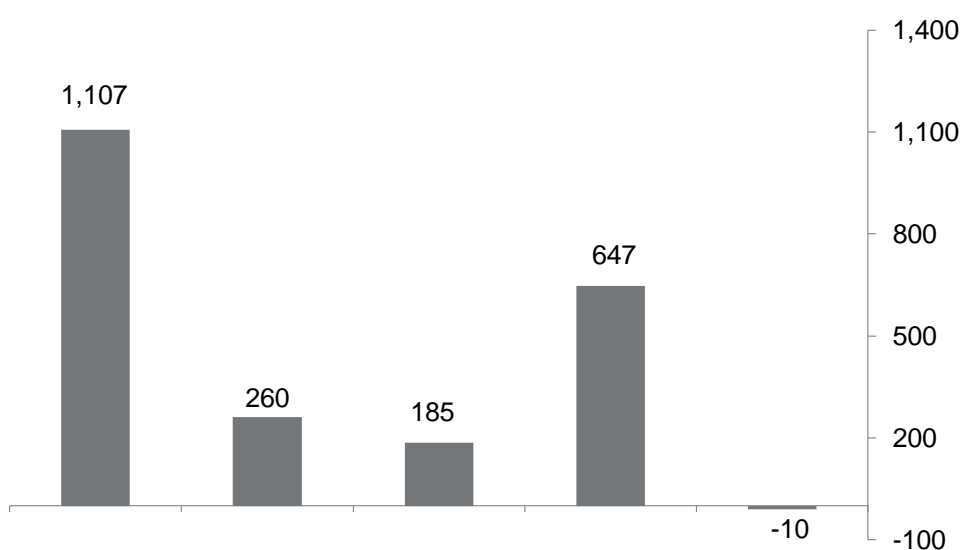


2011年3月期

2012年3月期

四半期

(10億円)



2012年3月期

2012年3月期

2Q

3Q

4Q

1Q

2Q

(1) 顧客資産純増=資産流入額-資産流出額、地域金融機関分を除く

口座数

(千口座)	2011年3月期	2012年3月期	2012年3月期			2013年3月期	
	3月末	3月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
残あり顧客口座数	4,936	4,985	4,954	4,966	4,985	4,997	5,003
株式保有口座数	2,695	2,706	2,703	2,707	2,706	2,714	2,731
ホームトレード / ネット&コール口座数 ¹	3,328	3,773	3,369	3,745	3,773	3,796	3,823

個人新規開設口座数・IT比率²

(千口座)	通期		四半期				
	2011年 3月期	2012年 3月期	2012年3月期			2013年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
個人新規開設口座数	326	235	53	50	64	52	70
IT比率 ²							
売買件数ベース	53%	57%	59%	56%	56%	55%	54%
売買金額ベース	27%	30%	32%	29%	29%	29%	27%

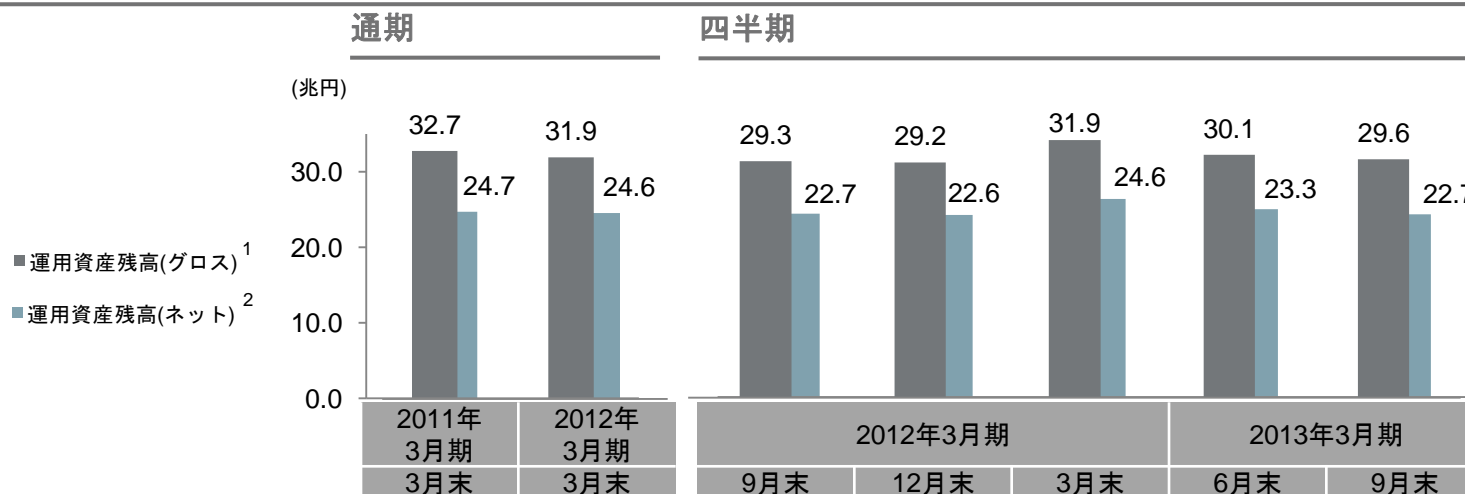
(1) 2011年12月末より、ホームトレードとネット&コールを合算した口座数を掲載
 (2) IT比率は現物株と株式ミニ投資の合計においてホームトレードとテレフォンアンサーで売買された割合

アセット・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)	2011年 3月期	2012年 3月期	2012年3月期			2013年3月期		前四 半期比	前年 同期比
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	66.5	65.8	16.0	15.3	15.7	16.4	15.4	-6.0%	-3.2%
金融費用以外の費用	46.5	45.3	11.2	11.1	11.6	11.0	10.9	-1.5%	-3.2%
税前利益	20.0	20.5	4.7	4.2	4.1	5.4	4.6	-15.1%	-3.2%

(1) 2011年4月の組織改正に伴いアセット・マネジメント部門およびその他を組み替えて表示

アセット・マネジメント部門 運用資産残高



(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタル、ノムラ・ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジーズ・アメリカの運用資産の単純合計

(2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

アセット・マネジメント部門関連データ(2)

アセット・マネジメント部門 運用資産残高(グロス)¹—ビジネス別

(兆円)

	2011年	2012年	2012年3月期			2013年3月期	
	3月期	3月期	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
	3月末	3月末					
投資信託ビジネス	24.3	23.0	21.2	21.0	23.0	21.5	21.7
投資顧問ビジネス	8.4	8.9	8.2	8.2	8.9	8.6	7.8
運用資産残高(グロス) ¹	32.7	31.9	29.3	29.2	31.9	30.1	29.6

運用資産残高—会社別

(兆円)

	2011年	2012年	2012年3月期			2013年3月期	
	3月期	3月期	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
	3月末	3月末					
野村アセットマネジメント	27.3	27.0	24.9	24.7	27.0	25.5	24.9
野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー	2.8	2.6	2.3	2.3	2.6	2.4	2.4
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント	1.8	1.5	1.2	1.3	1.5	1.5	1.6
野村プライベート・エクイティ・キャピタル	0.5	0.6	0.5	0.5	0.6	0.6	0.5
ノムラ・ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー・アメリカ	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2
運用資産残高(グロス) ¹	32.7	31.9	29.3	29.2	31.9	30.1	29.6
グループ会社間の重複資産	8.0	7.3	6.6	6.5	7.3	6.8	6.9
運用資産残高(ネット) ²	24.7	24.6	22.7	22.6	24.6	23.3	22.7

(1) 野村アセットマネジメント、野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、野村プライベート・エクイティ・キャピタル、ノムラ・ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー・アメリカの運用資産の単純合計

(2) 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

(3) 運用資産残高(ネット)に基づく資金流入額

(4) 出所: 投資信託協会

アセット・マネジメント部門 資金流入—ビジネス別³

(10億円)

	通期		四半期				
	2011年 3月期	2012年 3月期	2012年3月期			2013年3月期	
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
投資信託ビジネス	1,778	295	21	-90	13	128	87
うちETF	-11	347	236	97	-19	241	70
投資顧問ビジネス	145	513	-11	8	-87	218	-790
資金流入 合計	1,922	808	10	-82	-73	346	-703

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア⁴

(兆円)

	2011年	2012年	2012年3月期			2013年3月期	
	3月期	3月期	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
	3月末	3月末					
国内公募株式投信残高							
マーケット	54.2	51.2	47.3	46.8	51.2	47.9	48.3
野村アセットマネジメントシェア	17%	17%	17%	17%	17%	17%	17%
国内公募公社債投信残高							
マーケット	11.1	11.0	10.5	10.6	11.0	10.5	10.4
野村アセットマネジメントシェア	43%	44%	43%	43%	44%	44%	44%

ホールセール部門関連データ(1)

ホールセール部門

(10億円)

	2011年 3月期	2012年 3月期	2012年3月期			2013年3月期		前四 半期比	前年 同期比
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	626.1	555.0	81.6	175.1	158.4	121.9	137.1	12.5%	68.1%
金融費用以外の費用	622.0	592.7	152.2	138.1	146.5	130.4	136.9	5.0%	-10.1%
税前利益/損失	4.1	-37.7	-70.7	37.1	11.9	-8.6	0.2	-	-

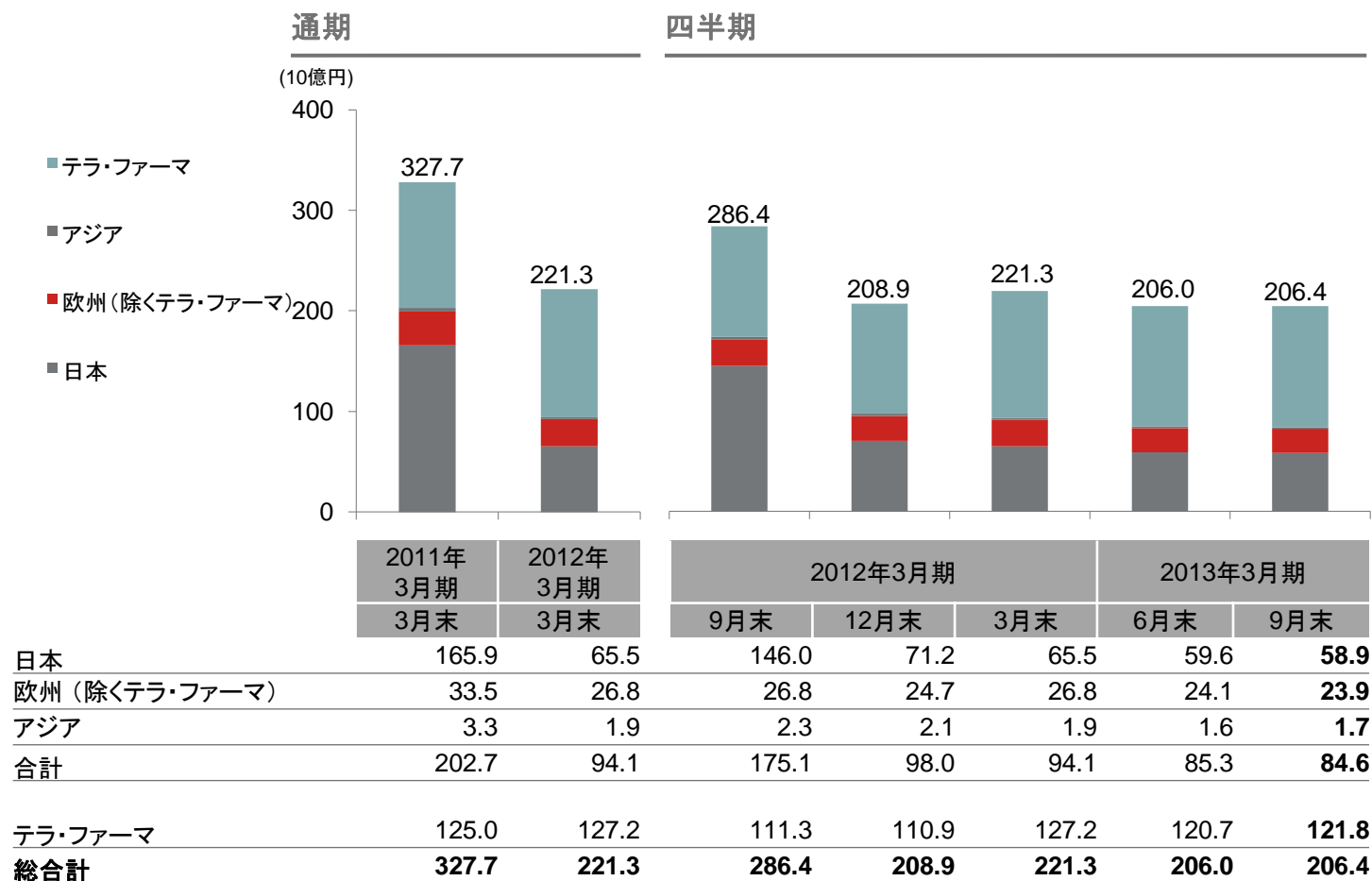
ホールセール部門 収益の内訳

(10億円)

	2011年 3月期	2012年 3月期	2012年3月期			2013年3月期		前四 半期比	前年 同期比
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
フィクスト・インカム	281.3	274.5	41.4	76.4	87.0	71.5	88.6	23.9%	114.1%
エクイティ	226.8	181.2	33.4	39.6	51.6	37.1	32.1	-13.5%	-3.9%
インベストメント・バンキング(ネット)	102.9	75.4	11.6	23.6	21.2	15.1	15.8	4.5%	35.9%
その他	15.2	23.9	-4.8	35.5	-1.4	-1.8	0.6	-	-
インベストメント・バンキング	118.1	99.3	6.8	59.1	19.8	13.3	16.4	23.6%	141.1%
収益合計(金融費用控除後)	626.1	555.0	81.6	175.1	158.4	121.9	137.1	12.5%	68.1%
金融費用以外の費用	622.0	592.7	152.2	138.1	146.5	130.4	136.9	5.0%	-10.1%
税前利益/損失	4.1	-37.7	-70.7	37.1	11.9	-8.6	0.2	-	-
インベストメント・バンキング(グロス)	185.0	141.7	23.8	45.1	40.5	32.2	33.3	3.7%	40.3%

(1) 2012年4月の組織改正に伴いホールセール部門およびその他を組み替えて表示

プライベート・エクイティ関連投資残高



	2011年3月末	2011年6月末	2011年9月末	2011年12月末	2012年3月末	2012年6月末	2012年9月末
日本（FA除く） ¹	12,829	20,263	20,105	19,882	19,598	20,197	20,039
FA社員	2,089	2,096	2,078	2,048	2,011	2,014	1,981
欧州	4,353	4,436	4,492	4,143	4,014	3,975	3,940
米州	2,348	2,383	2,537	2,466	2,420	2,423	2,425
アジア・オセアニア ²	5,252	6,452	6,485	6,394	6,352	6,454	6,430
合計	26,871	35,630	35,697	34,933	34,395	35,063	34,815

(1) プライベート・エクイティ投資先企業等の人員数は含まない

(2) インド(ボワイ・オフィス)を含む

Nomura Holdings, Inc.

www.nomura.com/jp/